



営農サポート通信 第19号

平成25年8月 JA都城：営農サポーター（TAC）



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

水稻情報

平成25年度の水稲の生育に関しましては、7月が前年比4%と非常に少ない降水量であったにも関わらず、大変良いという事です。しかし、今後、7月のような天候が続きますと場所によっては水不足が心配されますので、程良い雨を期待したいところです。

無人ヘリ防除の一回目が終わり、8月末には二回目の防除が行われます。各自で散布される場合は、効果は同じでも混用する農薬が各支所で違う場合がありますので、農産指導員に相談し適期での散布をお願い致します。

焼酎原料甘藷情報

8月に入りいよいよ甘藷の収穫が始まります。今年の傾向としまして、7月10日頃の坪掘り調査では、昨年（1.07t）とそれほど変わらない結果（1.06t）でした。その後、2週間後の坪掘り調査では、天候に恵まれ、管内三カ所の平均では、約700kgの増量という実績でした。今年は豊作になるのではないかと期待が持てる結果になっています。

《8月3日付、部会員の出荷状況：2,500kg程度です（10a当り）》
（3月下旬～4月上旬植付け）

青果用にんじん契約者募集中！

前回のサポート通信で紹介しましたが、まだまだ青果用ニンジン（品種：愛紅）の契約栽培をされる生産者を募集しております。契約単価は47円ですが、契約者自ら中郷集荷場に持ち込みをされますと運賃として3円プラスになります。

詳しい内容については、営農サポーター又は、支所園芸指導員へご相談下さい。



新しい機能性肥料紹介

◆亜リン酸カリ液《葉面散布剤》

亜リン酸は通常のリン酸と比べ、分子が小さいため、作物にスムーズに吸収されます。その結果、作物体内の代謝を促進します。また、窒素過剰で徒長気味の作物に施用することにより、作物を硬くしめる効果も期待できます。

亜リン酸の特徴

- ◆作物の免疫力UP
- ◆リン酸吸収力UP
- ◆発根促進、花芽分化促進、着果（花）促進
- ◆純度の高い、液状亜リン酸カリウム

【商品例】

★IB 亜リン酸カリ液（0-29-19）
希釈：1,000～2,000倍

★ホスプラス（0-32-25）
希釈：1,000～2,000倍

※興味のある方は、お気軽に営農サポーターへご相談ください。

サツマイモネコブセンチュウを抑制する緑肥用エン麦

新品種「A19」-九州沖縄農業研究センター、雪印種苗共同研究品種-

特長1 晩夏播きでセンチュウ抑制効果が高い

○暑さの残る晩夏から初秋にA19を栽培すると、活動中のサツマイモネコブセンチュウが根内に侵入し、産卵できないことから線虫の増殖が抑えられます。

特長2 生育が早く多収な極早生品種

○従来の品種よりも出穂が早く、九州では他品種が出穂に至らない9月下旬播きでも安定して出穂します。多収となるので、多量の有機物を畑にすき込むことが出来ます。

利用方法

◆播種期：9月上旬～9月末 ◆播種量：8～10kg/10a

◆すき込み期：12～1月

◆すき込み方法：ロータリーで2～3回耕耘、又はフレールモア等で細断後ロータリー耕をお勧めします。

※その他センチュウ抑制が期待できる品種：緑肥用ハイオーツ、たちいぶぎ etc...

※新品種ですので、注文品になります。



今年から、里芋の出荷方法が変わりました。

石川里芋の出荷が8月1日より始まります。出荷前には必ず圃場にて、園芸指導員が品質の確認してから出荷となりますので、宜しくお願いします。

今年は平年と比べ降水量が少ないため坪掘り調査の結果、例年より芋の個数の減少、芋の肥大不足により10a当たりの規格品収量が昨年より減少している結果が出ております。

農作業時の熱中症に注意しましょう

今年の夏は、非常に暑いです…

- 天気予報と体調をチェック ⇒ 急に暑くなる日は要注意です。体調不良時は、無理をしないよう心がける。
- 涼しい服装、安全な作業環境 ⇒ 帽子で日差しを遮り、汗を逃がしやすい服装で、作業は出来るだけ2人以上で、建屋の中でも風通しは良く。
- こまめな水分補給、こまめな休息 ⇒ 喉が渇く前に、こまめに水を飲み、無理せず、こまめに涼しい場所で休憩する。

熱中症になってしまったら

- ①涼しい場所に避難させる。
- ②服を脱がせ身体を冷ます。
- ③水分を補給する。
- ④自力で水を飲めない、意識が無い場合は、直ちに救助隊を要請しましょう。



以上の様な点に注意し心がけましょう。また、高齢者は若者に比べると、暑さや喉の渇きも感じにくくなっています。周囲の人も積極的に声を掛けましょう。

（文書取扱：JA都城 営農企画室） 事務所の電話番号は 38-6693 です